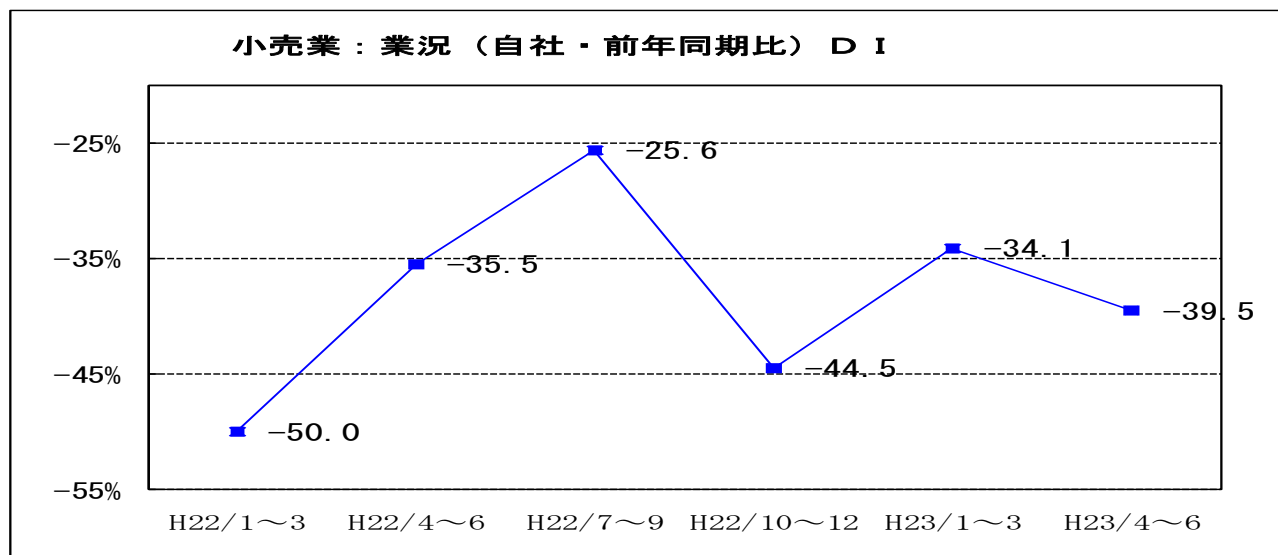


4. 小売業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス39.5。前期のマイナス34.1から5.4ポイント上昇、悪化。来期見通しは、マイナス40.5とほぼ横ばいの見込み。

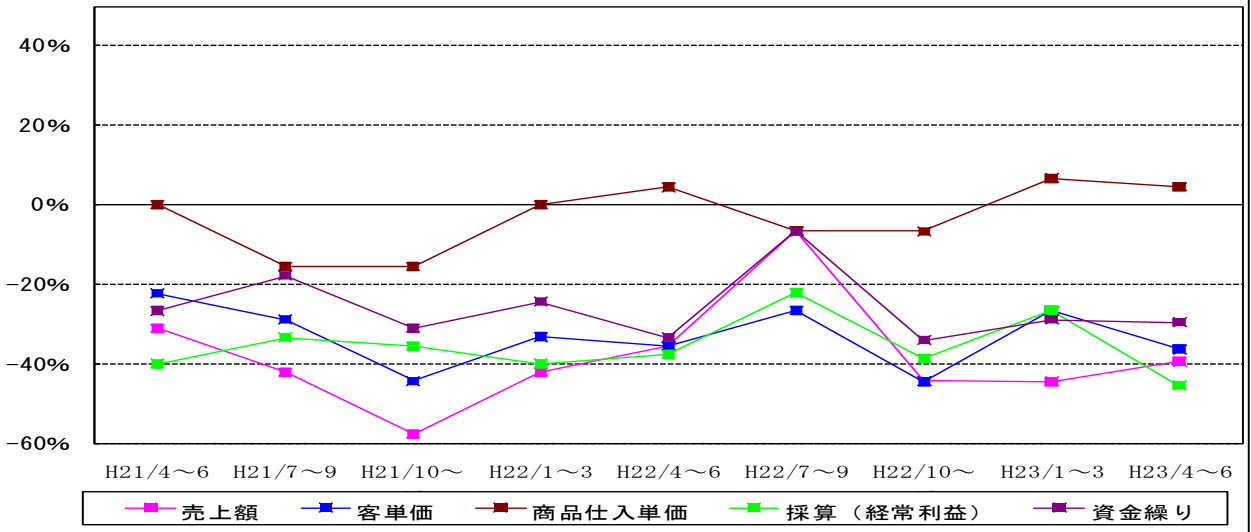


小売業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

	前々期 (22年10月~12月)	前期(A) (23年1月~3月)	今期(B) (23年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上額	▲44.4	▲44.5	▲39.5	5.0	▲38.6
客単価	▲44.5	▲26.6	▲36.4	▲9.8	▲34.1
商品仕入単価	▲6.7	6.7	4.5	▲2.2	9.1
採算（経常利益）	▲38.7	▲26.7	▲45.5	▲18.8	▲38.6
資金繰り	▲34.1	▲28.9	▲29.6	▲0.7	▲22.8

小売業 主要景況項目の推移—前年同期比—

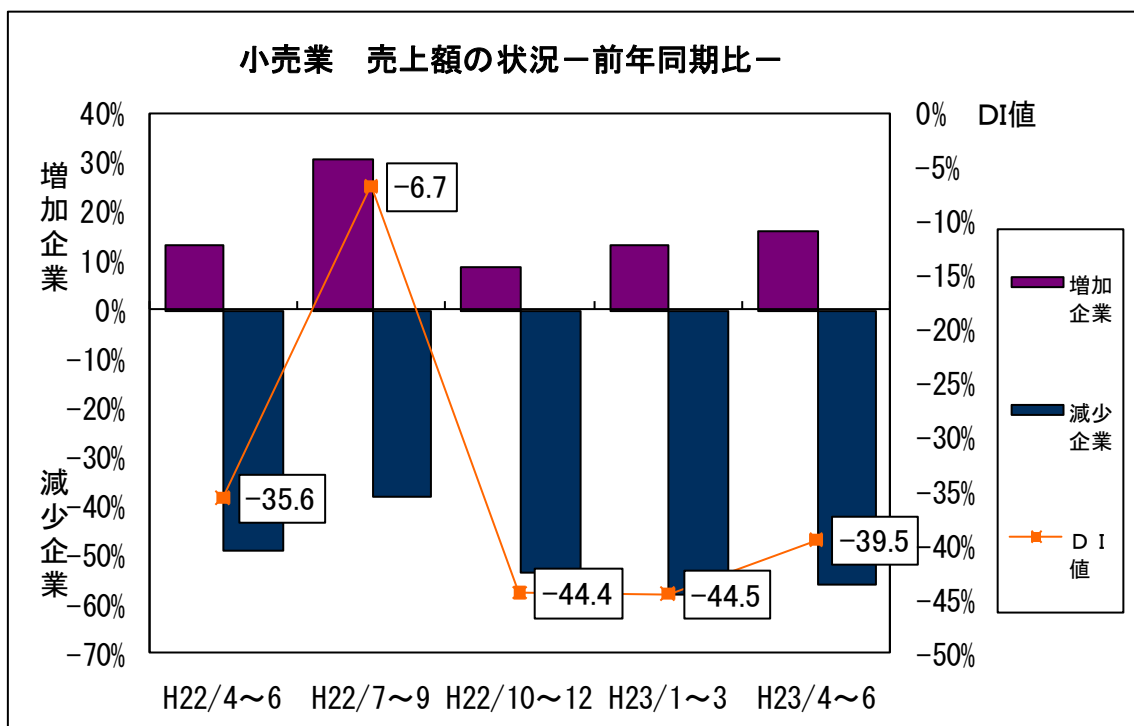
D I



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

①売上額 (前年同期比)

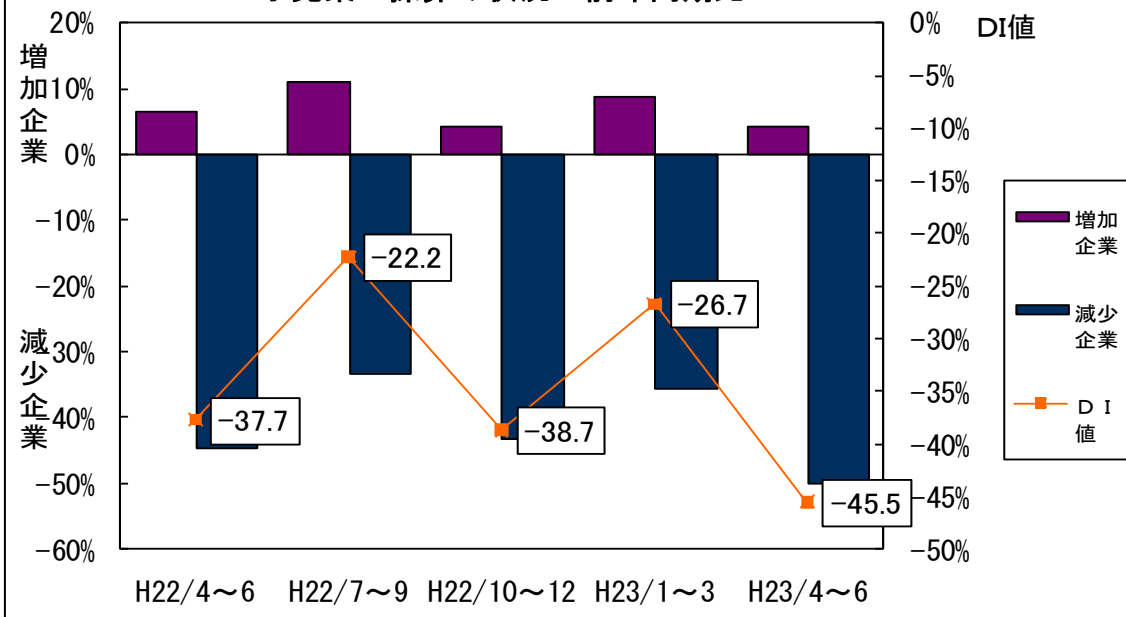
今期の売上額D I 値は、マイナス 39.5。前期のマイナス 44.5 から 5 ポイント上昇、ほぼ横ばい。来期見通しは、マイナス 38.6 とほぼ横ばい。



②採算 (前年同期比)

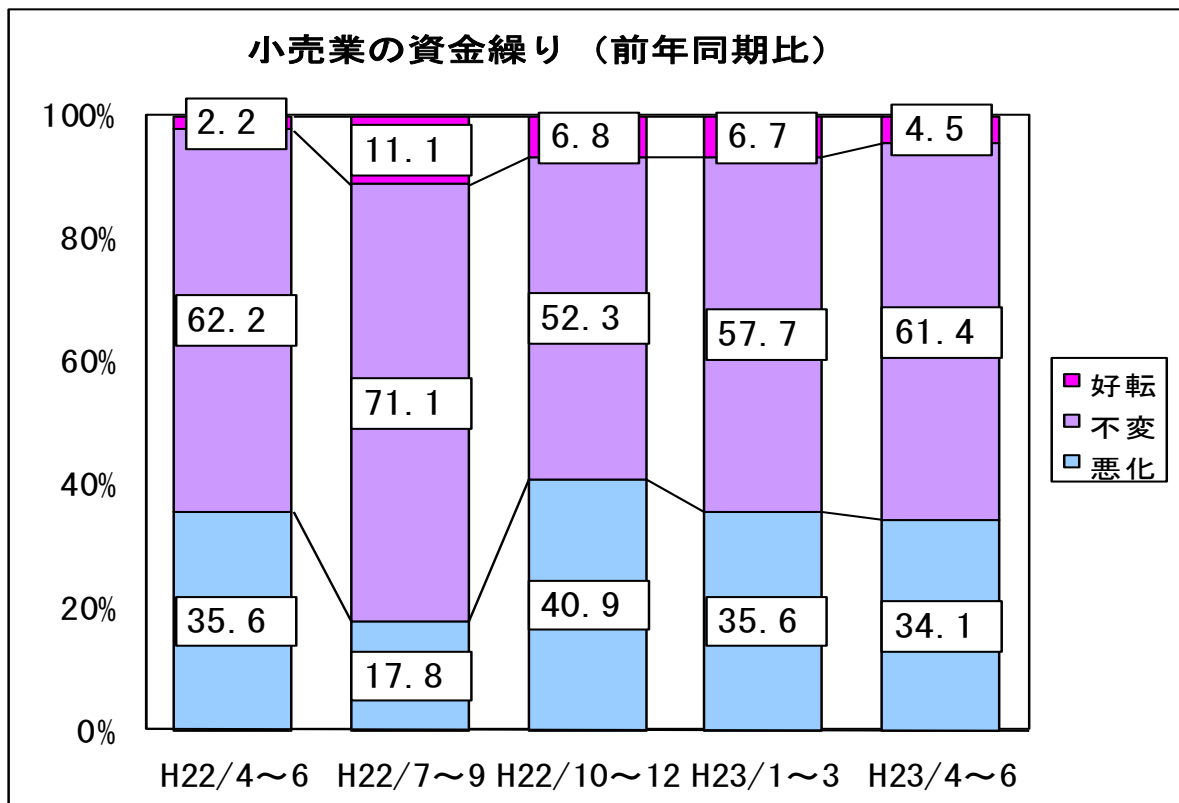
今期の採算D I 値は、マイナス 45.5。前期のマイナス 26.7 から 18.8 ポイント下落、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス 38.6 と回復の見込み。

小売業 採算の状況－前年同期比－



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 29.6。前期のマイナス 28.9 から 0.7 ポイント下落、悪化。来期見通しはマイナス 22.8 と横ばいの見込み。

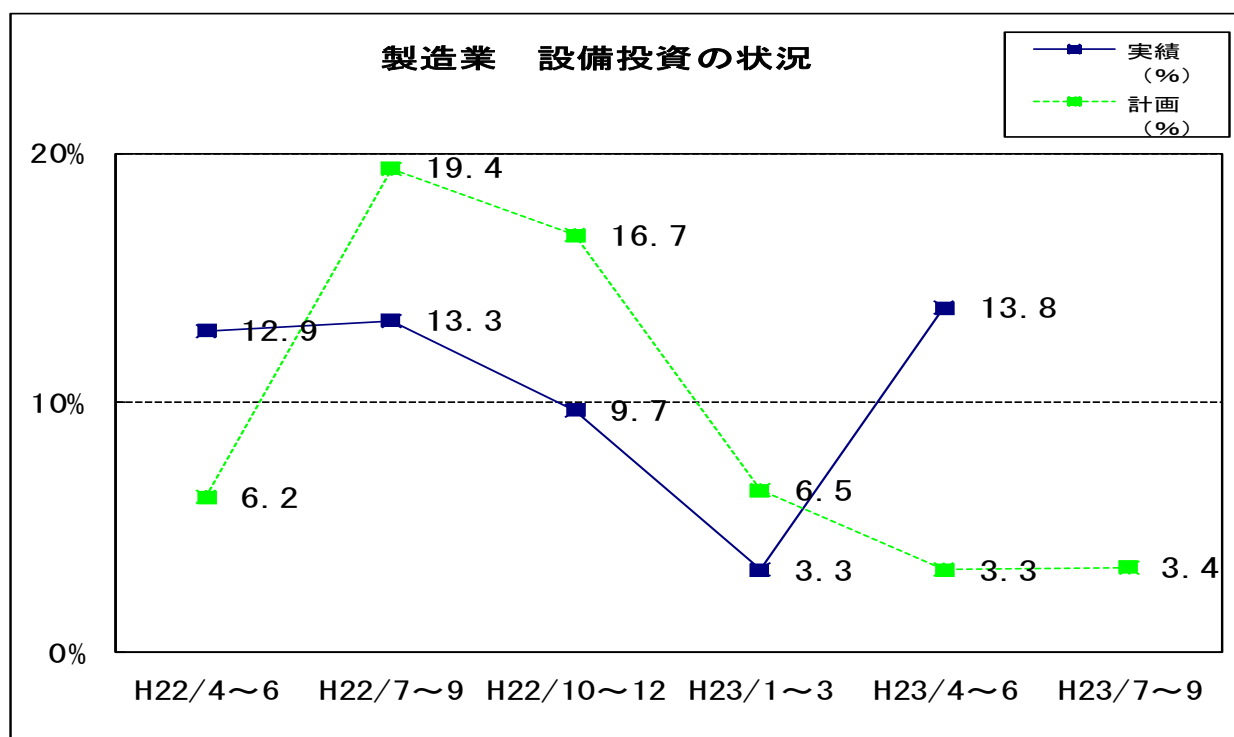


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし	
		土地	店舗	販売設備	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他		
前期実施 (実数)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	44
(%)	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	97.8
今期実施 (実数)	3	0	0	0	1	1	2	0	0	0	41
(%)	6.8	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	93.2
来期計画 (実数)	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	42
(%)	4.5	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	95.5

今期設備投資を実施した企業は3社（6.8%）。前期（平成23年1～3月期）の実施企業1社（2.2%）から大幅に上昇。来期は2社（4.5%）が、販売設備、OA機器への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「購買力の他地域への流出」 (前期 56.8% → 今期 48.8%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 63.6% → 今期 46.5%)
- ・ 「消費者ニーズの変化」 (前期 36.4% → 今期 46.5%)
- ・ 「大型店・中型店進出による競争の激化」 (前期 20.9% → 今期 25.6%)

となっている。

